

街歩きヒストリア



京橋川河畔の橋本町厳島神社 河野宏志さん撮影

橋本町厳島神社

③

かつては柳の生い茂る川辺であったという京橋西の一带。江戸時代にはいつきしまひめのみこと市杵嶋姫命を祭る橋本町厳島神社（通称「明神さん」）が勧請（神の分霊を他の場所かんじょうにまつること）され、この川岸は「明神の浜」と呼ばれるようになりました。社では毎年宮島管絃祭に併せて神事が行われ、管絃船のお供をする「御供船（おともん船）」が繰り出しました。

護岸の高提灯やきらびやかに装飾された船の影が川面に映り、絵巻物さながらの光景であったことが伝えられています。（文・片山典子さん）

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力
を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。
公募で集まった制作スタッフが編集します。

